

平成19年 新春記者会見 要 旨

1 昨年を振り返って

- ・「できごと」
 - ・全国各地での青少年のいじめ自殺問題。
 - ・多発した飲酒運転による交通事故。他人を思いやり，互いに支えあうことの尊さや，社会のルールを守ることの大切さ，人や社会とのきずなを深められるような環境づくりの重要性を強く認識。
 - ・「いじめを絶対に許さない」緊急アピール
 - ・飲酒運転撲滅キャンペーン
- ・「社会経済情勢」
 - ・我が国の景気は，戦後最長の回復局面。しかし，個人所得の伸びの鈍化から，景気回復の実感に至らず。
 - ・人口減少期に転じたことが明らかになった年。将来に対する漠然とした不安。
- ・「市長就任後の行政運営の総括」
 - ・「子どもの健全育成」，「保健福祉の充実」など重要課題が山積。重要課題への的確な対応のため，「スピードと成果」，「おもてなしの心」を重視したサービスの提供，徹底的な行財政改革を実行。
- ・「本市での動き」
 - ・市制110周年，「『人間力・都市力』向上元年」。
 - ・魅力ある学校づくり協議会設置，地域教育力向上の取組。
 - ・オリオンスクエアオープン，「宇都宮にぎわいまつり」実施。
 - ・二町との合併都市の魅力と活力の向上にむけて着実に歩みを進めてきた。

2 年頭にあたっての決意

- ・50万都市にふさわしい風格や魅力，活力，ブランド力を備えた「北関東の中核拠点都市・うつのみや」を築く
- 強い信念と情熱を持って取り組むべく決意を新たにしたところ。

3 平成19年度の重点的な取り組み

(1) 未来を拓くひとづくり

「『食育』の推進」

- ・食育応援団の結成。幼児期への実践講座や栄養指導の実施
- ・全小中学校への食物アレルギー対応給食設備の19年度内の整備。自校炊飯を行うための施設の計画的整備

「教育改革」

- ・「親学」の取り組み
- ・児童生徒の基本的な生活習慣と学力の習得に向けた取り組み。体力向上に向けたプログラム作成

「自立支援」

- ・就労支援(雇用確保に向けた企業への働きかけ，セミナー実施)の充実
- ・青少年の自立支援のための相談機能の充実
- ・高齢者・障害者のための施設の設置促進
- ・子ども発達センター，西部保育園のオープン

「地域力の向上」

- ・魅力ある学校づくり協議会の設置促進
- ・地域スポーツクラブ設立支援
- ・地域コミュニティセンター整備

(2) 都市の拠点や基盤づくり

「賑わいと風格のある都心部づくり」

a. 「JRコア」

- ・宇都宮駅東口地区整備事業

b. 「センターコア」

- ・宇都宮城址公園のオープン
- ・馬場通り中央地区・西地区の市街地再開発事業
- ・公共公益施設の整備(出張所機能，消費生活センター，妖精資料展示施設，
(仮称)国際交流プラザ，(仮称)子どもセンター，青少年の居場所 等)
- ・水景施設を備えた広場の整備

「機能的で活力のある地域拠点づくり」

- ・雀宮駅周辺地域の整備
(第3図書館基本設計，駅舎整備に向けた設計 等)

(3) 都市の活力を生み出す産業づくり

「農業」

- ・「うつのみやアグリネットワーク」設立
- ・「うつのみやアグリファンクラブ」での取組

「工業」

- ・次世代モビリティ産業クラスター推進協議会の設立，共同研究プロジェクトの実施。
- ・テクノポリスセンター地区への企業誘致の積極的な取組

「商業」

- ・商店街の景観整備事業
- ・おもてなし運動。まちなか観光
- ・各種大会の誘致促進

(4) 暮らしやすいまちづくり

「安全安心を実感できる生活環境の整備」

a. 「防犯」

- ・JR宇都宮駅周辺地域への防犯カメラの設置
- ・自主防犯活動団体の設立支援

- b. 「防災」
 - ・ 学校体育館の耐震化の集中的な実施
 - ・ 住宅の耐震化の支援
 - ・ (仮称)東消防署の整備

- c. 「その他」
 - ・ 自治会加入率の向上
 - ・ 雨水対策の推進

「総合的な交通ネットワークの整備」

- ・ 都市交通戦略の策定
- ・ L R T 導入に向けた具体的な検討
- ・ 「産業通り西原立体・川田」の供用開始。都計道・幹線市道の計画的整備

「環境負荷の少ない社会の構築」

- ・ 「地球温暖化防止対策地域推進計画」の策定
- ・ 廃食用油の資源化
- ・ もったいない運動の推進

(5) その他の主要な取り組み

- ・ 第5次総合計画の策定
- ・ 栃木SCへの支援
- ・ 高等教育機関(宇都宮大学)との連携
- ・ 新斎場の整備
- ・ 窓口サービス向上宣言

4 新年度予算編成

- ・ 19年度は、市町合併に加え、税源移譲、権限移譲など、地域経営の力量と手腕が問われる年。
- ・ 収納対策のなお一層の強化による、自主財源の充実・確保。
- ・ 行財政改革による内部管理経費縮減、施策・事業の「選択と集中」、「スクラップ・アンド・ビルド」の徹底。

5 新年度執行体制

- ・ 合併後においても、最少の資源で最大の効果を発揮する執行体制を整備。
- ・ 旧2町への「地域自治センター」の整備。
- ・ 危機管理専任組織の設置。
- ・ 「(仮称)市民プラザ」での窓口サービス提供・国際化推進などを行う体制の整備。
- ・ 「子ども発達センター」・「西部保育園」での事業実施体制の整備。

6 むすび

- ・ 市民一人ひとりが幸せを感じられ、「宇都宮に住んでよかった」「宇都宮を選んで良かった」と思っただけで、「市民一人ひとりが輝く、活力あふれる新しい宇都宮の創造」に向け、市民の皆様と一丸となって取り組んでいきたい。
- ・ 皆様方には、より一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。